

保護者の皆様

千葉市立西の谷小学校
校長 竹下 高代

令和5年度 学校評価（前期）について

秋晴の候、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、7月に実施いたしました学校評価アンケートの結果についてご報告いたします。学校評価は本校の教育活動その他学校運営の状況について自ら評価を行い、その結果を公表するとともに、次年度に生かしていくためのものです。これからも、保護者の皆様と学校との協力のもと、よりよい教育活動を目指してまいります。

<児童の評価より>

前回比 プラス0.2以上○ マイナス0.2以上△

	質問内容	児童			
		R4/2	R4/7	R5/2	R5/7
①	登下校や学校生活の中で、友達・先生・地域の方にあいさつしていますか。	3.5	3.5	3.4	3.4
②	いつも、お友だちにやさしい心で、あたたかい言葉かけをしていますか。	3.3	3.4	3.3	3.3
③	いじめやけんかをせず、友だちとなかよく生活していますか。	3.4	3.5	3.5	3.4
④	学校では自分から進んで勉強しようとしていますか。	3.2	3.4	3.3	3.4
⑤	学校で勉強したことが、よくわかっていますか。	3.5	3.5	3.5	3.5
⑥	お家で毎日、進んで勉強していますか。	3.1	3.2	3.0	3.1
⑦	進んで体力づくりに取り組み、楽しく運動していますか。	3.4	3.4	3.5	3.4
⑧	早寝、早起きをし、朝ごはんを食べ、規則正しい生活をしていますか。	3.2	3.3	3.2	3.3
⑨	ルールやマナーを守り、安全に気をつけて生活していますか。	3.6	3.6	3.6	3.6
⑩	学校での出来事を家の人にきちんとお話していますか。	3.3	3.4	3.3	3.3
⑪	先生は、健康や安全などの大切なお話をよくしてくれますか。	3.6	3.7	3.5	3.6
⑫	先生は相談したこと、質問したことに、よく答えてくれますか。	3.6	3.6	3.6	3.6
⑬	学校や学級での生活は楽しいですか。	3.5	3.6	3.6	3.5
⑭	学校の中で悩みや不安はない。	3.2	3.0	3.5	△3.0

<保護者の皆様、教職員の評価より>

前回比 プラス0.2以上○ マイナス0.2以上△

	質問内容	保護者		教員	
		R5/2	R5/7	R5/2	R5/7
①	登下校や学校生活の中で、友達・先生・地域の方に挨拶ができていると思われませんか。	3.1	3.1	3.0	3.1
②	やさしい心で、あたたかい言葉かけをしていると思われませんか。	3.2	3.3	3.4	3.4
③	思いやりの心もち、良い友だち関係をつくっていると思われませんか。	3.4	3.5	3.5	3.5
④	進んで学習しようとする姿勢や意欲がみられると思われませんか。	3.0	3.0	3.4	△3.2
⑤	学校での学習の内容をよく理解していると思われませんか。	3.2	3.2	3.3	3.4
⑥	家庭で毎日、進んで勉強していますか。	2.8	2.8	2.9	3.0
⑦	進んで体力づくりに取り組み、楽しく運動する姿勢がみられましたか。	3.2	3.2	3.3	△2.9
⑧	早寝、早起き、朝ごはん等、規則正しい生活ができていると思われませんか。	3.1	3.2	3.5	△3.1
⑨	ルールやマナーを守り、安全に気をつけて生活していると思われませんか。	3.4	3.4	3.7	3.7
⑩	学校での活動の様子がお子様から家庭に伝わっていると思われませんか。	3.1	3.2	3.1	3.2
⑪	学校は家庭に必要な情報をタイムリーに提供していると思いませんか。	3.4	3.3	3.6	3.5
⑫	学校は保護者からの連絡・相談に対して、適切に対応していると思われませんか。	3.6	3.6	3.6	3.6
⑬	学校や学級で楽しく過ごしていると思われませんか。	3.6	3.6	3.5	3.5
⑭	学校生活に悩みや不安はないと思われませんか。	3.2	3.2	2.8	○3.0

「そう思う」4点、「すこしそう思う」3点、「あまりそう思わない」2点、「ほとんど思わない」1点として集計し、平均を出したものが上の表です。

<児童のアンケート結果からの傾向と対策>

今回の調査でも 3.5 ポイント前後の高い得点の項目が多く、全体的に児童の評価は高いと考えられます。また、1つの項目以外はすべて増減が 0.1 ポイント以内に収まっており、全体の傾向としては大きな変化は見られません。

「④学校の中で悩みや不安はない。」は唯一大きな変動のあった項目です。前回調査において大きなポイント上昇があったのですが、今回の調査では前々回と同程度の評価まで下がってしまいました。

環境的な要因としては、担任や友達との人間関係に慣れて気持ちが安定する後期と比べ、前期は入学や進級に伴うクラス替えなどで新しい人間関係を作っていく時期であり、不安を感じる要素が多くなることが考えられます。「⑩先生は相談したこと、質問したことに、よく答えてくれますか。」のポイントが非常に高いことから、具体的な相談をするような事柄ではなく、漠然とした不安を抱えている児童もいることが推察されます。これから後期に向けて、どの子ども安心して過ごせる教室になるよう努めてまいります。

また、一人一人が個別に抱える問題や悩みに対しては、生活アンケートを基にした面談で話を聞いたり、日々の学校生活において児童の表情や言動等の変化に気を付けたりすることで、早期に対応していくようにします。その際には、担任だけでなく、学年職員や管理職、養護教諭なども積極的に児童に関わり、困ったことがあれば誰にでも相談できるような雰囲気・体制をつかっていきたいと考えております。

「⑥お家で毎日、進んで勉強していますか。」は毎回ポイントが低い項目です。近年、家庭における「自主学习」の効果や大切さが様々な場面で語られるようになりました。共通で出される宿題にしっかりと取り組むだけでも十分に素晴らしいことですが、一歩進んで、自分の興味・関心に合わせた学習をしたり、自分に必要な学習を自分で考えてみたりできれば、さらに力が伸びていきます。学校としても個々に合わせた声掛けをしてまいります。

<保護者及び教職員の自己評価から見られる課題と対応>

保護者の皆様からの評価は、ポイントの「微増」「変化なし」がほとんどでした。それに対して教職員の自己評価はいくつかの項目で変化があります。結果を受け、以下の点を意識しながら今後の教育活動に取り組んでいきたと考えております。

「進んで学習する子」の育成は、学校にとって大きな目標の一つです。意欲的に学習に取り組む子は、知識や技能の習得はもちろんのこと、生活全般に対する充実度、満足度が飛躍的に高まります。本年度は職員の研究・研修テーマにも掲げており、授業を中心に様々な面で子供たちの興味・関心を高めていきたいと考えます。

「体力づくり」「規則正しい生活」は教職員が課題に感じている項目です。しばらくの間、体力づくりに関する各種活動にコロナによる制限がありました。今年度、活動の制限がなくなっても、子供たちの気持ちや習慣がまだ戻ってきていない面があります。体育の授業や体育的行事、休み時間の過ごし方にも目を向けて、子供たちが体を動かしたくなる機会を多く設定していきます。

「規則正しい生活」は、学校とご家庭の協力が不可欠な項目です。学校でも折に触れて学年や発達段階に応じた指導をしておりますので、ご家庭でもよりよい生活習慣の確立にご協力ください。

<保護者の皆様からのご意見・要望について>

多くの皆様から教職員への感謝、励ましの言葉をいただきましたこと、誠にありがとうございます。人手不足や長時間労働を心配してくださる声もあり、お気遣いに感謝いたします。それを励みとして、これからも精一杯日々の教育活動に取り組んでまいります。

以下、ご意見・ご質問に関しての回答です。全体に向けてお知らせすべき内容のものをまとめました。

- ・「すぐー」の活用についていくつかご提案をいただきました。「すぐー」は、千葉市小中学校共通のシステムであり、千葉市教育委員会の方針に沿って運用しております。学校独自での機能追加などは難しいところですが、システムの利便性向上のため、いただいたご意見は市からの調査の際などに伝えてまいります。
- ・学校ごとに普段の下校時刻が少しずつ違うことに関するご質問もありました。学校によって異なるのは「休み時間」「清掃」「ホームルーム」等の長さであり、「学習時間」は「1コマ：45分」で共通です。下校時刻が早いと学習内容が少ないということはありませんのでご安心ください。
- ・きめ細やかな指導のためには、1クラスあたりの児童数はある程度少なく、教員の人数は多く、というのが理想です。しかしながら「学年の児童数に対するクラス数」は法令で厳密に定められており、学校の裁量でクラスを増やすことはできません。本校では、より効果的な校内支援体制の構築、ICT活用、ボランティアスタッフの配置などで、「誰一人取り残すことのない」教育を目指しております。
- ・行事の実施方法については、「コロナ前に完全に戻す」のではなく、「この数年間の試行錯誤で得られた成果を生かし、よりよいものにしていく」という考え方を基本としております。運動会の内容、時間設定などにつきましても、次年度に向けて検討を重ねてまいります。
- ・年々、熱中症の危険は高まるばかりです。前述の行事等につきましても、熱中症対策を考慮しての計画や実施となります。また、日々の活動や休み時間の過ごし方も、気温や天候によって柔軟に変更していきたいと思っております。ご理解・ご協力をお願いいたします。
- ・子どもが事件・事故にまきこまれないことは、保護者の皆様と教職員共通の願いです。そのために非常に大切だと言われているのが、「自分の命は自分で守る」ことのできる知識や心構えを身に付けることです。学校では「交通安全、不審者対応」について今後も根気よく指導していきます。ご家庭でも道路の歩き方や自転車の乗り方、ヘルメット着用の徹底、遊ぶ時間や場所の確認など、声を掛けていただきたいと思います。また、交通見回り当番（セーフティーウォッチャー活動）へのご協力もよろしくお願いたします。

その他の内容につきましても、今後の学校運営に生かしてまいります。貴重なご意見、ありがとうございました。